

カイエ・デュ・シネマが選ぶ フランス映画の現在

フランスの伝説的映画雑誌「カイエ・デュ・シネマ」誌と仏政府公式機関としてフランスの文化を発信しているアンスティチュ・フランセ日本が提携し、現在の映画を語るべく、選りすぐった作品を紹介する「カイエ・デュ・シネマ週間」で上映された作品から6作品を上映いたします。現代フランス映画を代表する監督の最新作から気鋭監督の意欲作まで、まさに「フランス映画の現在」を観ることができる特集上映です。



Un beau soleil intérieur

『レット・ザ・サンシャイン・イン』

2017年/1時間35分/DCP 監督:クレール・ドゥニ
出演:ジュリエット・ピノシュ/グザヴィエ・ボーヴォワ
フィリップ・カトリニ/ニコラ・デュヴォシュ/ジェラルド・バルデュ

中年にさしかかったイザベルは、シングルマザーのアーティスト。恋愛意欲は盛んで、残りの人生の伴侶を求めてデートを繰り返す。しかしどの相手にも一長一短があり、なかなかうまくいかない…。

名匠クレール・ドゥニ監督が描く、大人の女の恋愛コメディ・ドラマ。ヒロインのイザベル役には早くからピノシュ以外にあり得ないと確信、美人で官能的な身体と失敗に負けない意思を持ち、まだ愛が必ず勝つとは信じられない状況にある女性像を作り上げた。



Jeannette, l'enfance de Janne d'Arc

『ジャンネット、ジャンヌ・ダルクの幼年期』

2017年/1時間45分/DCP 監督:ブリュノ・デュモン
出演:リース・ブルバ/ブリュム/ジャンヌ・ヴォワザン/リュシル・グーティエ

1425年、フランス、ドンレミ村。8歳のジャンネットは、まだジャンヌ・ダルクではなかったものの、すでにイギリス人をフランス王国から追い出したいと思っていた。詩人・思想家のシャルル・ペギーによる『ジャンヌ・ダルク(1897年)』と『ジャンヌ・ダルクの愛の秘義(1910年)』を元にブリュノ・デュモンは、未来の聖女の幼年期をミュージカルで描き出した。カイエ誌は「不純で、奇妙で様々なものがいっぱい詰まっていると同時に果敢なほどミニマルで素晴らしい」と絶賛。

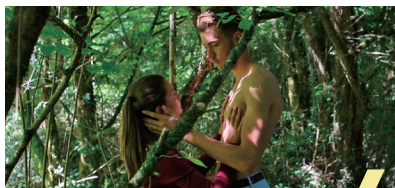


P'tit Quinquin

『プティ・カンカン』

2014年/3時間20分/DCP 監督:ブリュノ・デュモン
出演:アラヌ・ドゥラエ/リュシー・カロン/ベルナル・リュヴォスト

プロネ地方の海岸沿いの村に住む少年プティ・カンカンは、ガール・フレンドのイヴ、仲間たちと自由に休暇を過ごしている。ある日、海岸に警察のヘリコプターが着陸し、洞穴から牛の遺体を引き出しているのを目撃する。その牛のお腹からバラバラにされた女性の遺体が見つかる。そして牛の遺体はもう一体、また一体とふえていく…。警察部長のヴァン・デル・ヴェイデンと部下のリュディ・カルパティエ、そしてプティ・カンカン率いる子供たちは、それぞれこの奇妙な事件を追っていく。



Le Parc

『パーク』

2016年/1時間12分/DCP 監督:ダミアン・マニヴェル
出演:ナオミ・ヴォクト/ロビー・マキシム/バシルリ/ソペール・セスマ

夏。とある公園で二人のティーンエイジャーが初デートをする。始めは戸惑い、恥じらっていた彼らも散歩が進むままに距離が縮まり、恋に落ちる。日が落ちて、別れの時間…。そして暗い夜が始まり、公園がそれまでと異なる表情、位相を見せ始める。五十嵐耕平と冬の青森を舞台に作られた日仏共同監督作品『泳ぎすぎた夜』(18年)が公開されたフランスの新鋭監督、ダミアン・マニヴェルの長編2作目。2016年のカンヌ国際映画祭で絶賛された。



La Loi de la jungle

『ジャングルの掟』

2016年/1時間39分/DCP 監督:アントナン・ペレジャトコ
出演:ヴァンサン・マケニユ/ヴィラ・ボンス
パスカル・レジティミユス/マチュー・アマルリク

仏領ギニアの観光再開のためアマゾン初のインドア・スキー場が建設される。その現場にヨーロッパ基準を持ち込むべく、規範省のインタン、マルク・シャテーンが派遣されてきた。「ターザン」と呼ばれる先輩女性スタッフとアマゾンのジャングルに調査に出たマルクは道に迷い、ジャングルの"掟"を知ることになる。アマゾンを舞台に繰り広げられるアクション満載のラブコメディ。



Victoria

『ヴィクトリア』

2016年/1時間37分/BD 監督:ジュスティヌ・トリエ
出演:ヴィルジニー・エフィラ/ヴァンサン・ラコスト/メルヴィル・ポボー

弁護士のヴィクトリアは出席した結婚式で、昔の友人ヴァンサンと、以前担当した薬物事件の依頼人サムに再会する。ヴァンサンはその晩、恋人の殺害未遂容疑で逮捕され、仕方なく弁護を引き受けたヴィクトリアだったが、元夫の迷惑行為に対応したり、なぜかサムを住込みのベビーシッターとして雇うことになったり、数々の波乱が巻き起こる…。人気沸騰中の女優ヴィルジニー・エフィラ(『ELLE エル』)が仕事、家庭、恋愛の間で、自分の生き方を模索する現代的な女性を魅力的に演じ、新世代の注目株ヴァンサン・ラコストもその魅力を十二分に発揮。

7/27(土)	15:30~17:05 レット・ザ・サンシャイン・イン	上映後 シネマアカデミー	19:00~20:45 ジャンネット、ジャンヌ・ダルクの幼年期
7/28(日)	15:30~18:50 プティ・カンカン		19:30~21:07 ヴィクトリア
7/29(月)	15:30~17:09 ジャングルの掟	17:30~19:15 ジャンネット、ジャンヌ・ダルクの幼年期	19:30~21:05 レット・ザ・サンシャイン・イン
7/30(火)	15:30~17:15 ジャンネット、ジャンヌ・ダルクの幼年期	17:30~19:09 ジャングルの掟	19:30~20:42 パーク
7/31(水)	15:30~17:07 ヴィクトリア	17:30~19:05 レット・ザ・サンシャイン・イン	19:30~21:09 ジャングルの掟
8/1(木)	15:30~16:42 パーク	17:00~20:20 プティ・カンカン	
8/2(金)	15:30~17:15 ジャンネット、ジャンヌ・ダルクの幼年期	17:30~19:07 ヴィクトリア	19:30~21:05 レット・ザ・サンシャイン・イン

□ 主催:シネマテークたかさき □ 共催:一般社団法人コミュニティシネマセンター、アンスティチュ・フランセ日本 □ 助成:アンスティチュ・フランセパリ本部
□ フィルム提供及び協力:バック・フィルム、フィルム・デュ・ロザンジュ、ファインフィルムズ、リュックボックス、プレイタイム
□ 特別協力:カイエ・デュ・シネマ、マーメイドフィルム、同志社大学今出川校地学生支援課 □ 協力:高崎映画祭

Les Cahiers du Cinéma



cinémathèque
NONPROFIT ORGANIZATION TAKASAKI COMMUNITY CINEMA takasaki

特集
上映

Un beau soleil intérieur
Jeannette, l'enfance de Janne d'Arc
P'tit Quinquin
Le Parc
La Loi de la jungle
Victoria



カイエ・デュ・シネマが選ぶ

フランス映画の現在

料金

一般1,500円/シニア、学生、高校生以下1,000円
メンバーズ/賛助会員1,000円 ※各回入替制

7/27_土—8/2_金

開催
記念

シネマアカデミー開催



本特集の作品選定に携われ、フランスから多くの監督、俳優、映画批評家らを招聘し、日本では上映の機会があまりない作品を中心に紹介しながら、上映と批評との関係、国境を越えたアーティスト、書き手の交流についてつねに模索されている坂本安美さんをお迎えし、フランス映画の楽しみ方から最新のフランス映画事情までたっぷりとお話を伺います。

あび
講師 坂本安美さん(アンスティチュ・フランセ日本 映画プログラム主任)

日時 7月27日(土)15時30分の回上映後

会場 シネマテークたかさき スクリーン1

下記日程にて、劇場受付または電話(027-325-1744)にて事前予約を承ります。

【会員】7月13日(土)午前11時30分より 【一般】7月14日(日) 午前11時30分より

※7/27(土)15時30分の回をご鑑賞のお客様がそのままのお席でご参加いただけます。

※定員(58名)に達し次第、受付終了いたします。 ※上映後約10分間の休憩あり。

※終了は18時30分を予定しております。

